

●訓練ポイント

- ・「南海トラフ地震臨時情報※(調査中)」の発表時における対応手順の確認
- ・発災後の災害対策本部運営(防災ヘリやDiMAPSなど情報収集・共有、総合啓開、リエゾン・TEC-FORCE派遣等)
- ・TEC-FORCE活動計画(受援計画)に基づく広域進出拠点運営手順の確認
- ・関係機関と連携した道路・航路啓開、排水作業等実働訓練及び地方自治体、防災関係機関との情報伝達

※南海トラフ沿いで異状な現象(半割れ、一部割れ、ゆっくりすべり)が観測され、防災対応を準備・開始するための情報

【実施日】

令和元年8月30日(金)
(地震災害警戒本部訓練)
9月1日(日)
(災害対策本部訓練)

【参加機関】

- ・中部地方整備局
 - ・豊橋河川事務所
 - ・名古屋国道事務所
 - ・中部技術事務所
 - ・浜松河川国道事務所
 - ・多治見砂防国道事務所
 - ・木曾川上流河川事務所
 - ・岐阜国道事務所
 - ・沼津河川国道事務所
 - ・静岡河川事務所
 - ・木曾川下流河川事務所
 - ・三重河川国道事務所
 - ・飯田国道事務所
 - ・三河港湾事務所
- ・中部運輸局
- ・国土地理院
- ・第四管区海上保安部
- ・陸上自衛隊・海上自衛隊
- ・愛知県
- ・岐阜県
- ・静岡県
- ・三重県
- ・豊橋市
- ・飯田市
- ・三島市
- ・木曾岬町
- ・災害協定締結業者等



臨時情報(調査中)発表時における対応
(地震災害警戒本部)



広域進出拠点開設(恵那峡SA)



地方自治体首長との情報伝達
(テレビ会議:愛知県知事、豊橋市長、
木曾岬町長、飯田市長、三島市長)



自衛隊航空機(C130)を活用した車両輸送



排出油防除(三河港)



排水ポンプ車による排水作業(木曾岬町)